

事業所名		ビーナスキッズみくにがおか					支援プログラム（参考様式）		作成日	R7	年	3月	1日
法人（事業所）理念		集団生活の中で生きていく力を身につける。											
支援方針		日課・運動・学習の柱でコミュニケーション力・社会性を養う。											
営業時間		平日 祝日・長期休暇	9時	30分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	（あり）	なし	（放課後等デイサービスのみ）	
本人支援	健康・生活	写真等を使って玩具や使ったものは自分で片づけられるように構造化しています。フロアはパーテーションで区切りより集中できる環境を作っています。またチャイムで活動を区切っているコースもあり時間に応じた行動の切り替えを促しています。長期休暇では昼食時間に食事スキルの獲得に努めています。また健康確認の為名前を呼ばれたら返事をする習慣を身につけています。											
	運動・感覚	個別・半集団・集団の運動があり、児童に合ったコースを提供しています。個別運動では感覚運動ははじめ就学までに身につけたい36の動きを中心にコーディネーショントレーニングや学校体育克服のための運動を実施しています。半集団・集団運動では相手と合わせる動きや発問に挙手をして自分の意見を言ったり運動を通して社会性やコミュニケーション力を向上させる内容となっています。											
	認知・行動	視知覚トレーニングを実施しており形・数等の認知を促したり半年に1回は視知覚認知テストを行い、習得具合をアセスメントしています。また日課の脳機能トレーニングでは入力した情報を処理して表出する練習を音読・聞き取り・百人一首等で実施しています。											
	言語 コミュニケーション	言語でのコミュニケーション場面を作ることはもちろん言葉を使わない非言語コミュニケーションも段階を踏んで習得していきます。運動では他児童と動きを合わすコミュニケーションやグループで意見を言い合う時間を設けたり意図的に意見を聞く・言う環境を作っています。休み時間では玩具の貸し借り等コミュニケーションスキルを指導していきます。											
	人間関係 社会性	休み時間や運動を通して人間関係を育む方法を伝えていきます。集団療育では話し合いの場や挙手をして意見を言う等社会に出た時に必要とされるスキルを身につけます。また選択肢を提示しながら折り合いの付け方や交渉するスキルをスモールステップで指導しています。休み時間では他児童と一緒に遊びを共有したりルールの遊びの中で社会性の向上に繋げていきます。											
家族支援		懇談や家庭訪問は随時実施しています。また要望があれば見学を受け付けており事業所での様子や対応方法等共有しています。 放課後デイサービスでは送迎の支援もしています。						移行支援		進路や移行先について相談や支援をしたり移行先との支援内容の共有や支援方法の伝達を支援しています。			
地域支援・地域連携		園や学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整に関する相談援助を実施しています。また相談支援事業所や他の障害児通所支援事業所との連携に取り組んでいます。						職員の質の向上		療育指導の研究授業や模擬授業など。また障害特性に応じて対応方法の統一化をしています。			
主な行事等		算数検定（準会場指定）・漢字検定（準会場指定）・体力測定（年2回）											